

県復興委員会 第 10 回総合企画専門委員会の審議概要

1 開催概要

(1) 日時等

平成 25 年 7 月 18 日（木）13：00～15：00 サンセール盛岡「鳳凰」

(2) 審議事項等

- ① 総合企画専門委員会による現地調査の概要等について（報告事項）
- ② 「いわて復興レポート 2013」（案）について（審議事項）
- ③ 「復興実施計画（第 2 期）の方向性」（案）について（審議事項）

2 審議概要

「いわて復興レポート（案）」及び「復興実施計画（第 2 期）の方向性（案）」のいずれについても、大筋において了承され、一部字句の修正等を行った上で、7 月 22 日開催の復興委員会に提出することとされた。

また、復興の取組を着実に推進し更に加速させるため、委員会として「**更なる復興の加速のための提言**」を取りまとめ、復興委員会に報告することとなった。

なお、審議中に出された主な意見は、次のとおり。

- 「いわて復興レポート 2013（案）」について
- 「復興実施計画（第 2 期）の方向性（案）」について

（南委員）

- ・ 第 1 期の計画づくりは手探りであったが、**第 2 期については、第 1 期の実績を踏まえながら策定**することができる。例えば、震災後の人口減少や将来予測、これまでの施策の成果なども踏まえ取り組んでいく必要がある。
- ・ 計画の目標とする状態を明確に描き、被災者の方々に伝えていくことが必要と考える。

（齋藤委員長）

- ・ 将来に希望を持ってない人も出てきつつある。これらの人も希望が持てるよう、地域の夢を描く**三陸創造プロジェクトの具体化**をしていく必要がある。

（谷藤委員）

- ・ 観光で地域振興しようとなると、全国各地に同じことをやっているの、相当の戦略を練って取り組まなければならない。**岩手の観光の強みとしては、伝統と文化**を出すべき。

(若林委員)

- ・ 地域振興の成功事例を見ると、交通・交流・高齢の「3つのコウ」がキーワードとなっている。実は、小規模な水産加工の作業場は、近所の高齢者の方々の仕事の場でもあった。**多様な雇用形態を維持・回復していくことが、地域のコミュニティづくりには必要である。**

➤ **更なる復興の加速のための提言について**

(豊島副委員長)

- ・ 目標やあるべき姿をできるだけ明確にして、**地域の方々が共有し、議論ができるような社会づくりを促進していくべき。**

(谷藤委員)

- ・ **長期的・広域的な地域ビジョンの策定**については、計画期間の問題や、県のみならずさまざまな主体の協働などが必要であり、**復興実施計画の中だけに止まらない課題**である。